

# 省エネ屋根用 遮熱・断熱・防音塗料

中空バルーン配合屋根用遮熱塗料

# パラサーモシート

【改訂第6版】



屋根用遮熱塗料の豊富な採用実績と  
自動車用防音材開発技術を応用。

# 遮熱効果と断熱・防音効果を組み合わせた屋根用遮熱反射性中空バルーンが太陽熱を遮断、約16℃の温

「パラサーモシールド」は中空バルーン層を含む屋根用遮熱塗料です。

中空バルーンを配合している中塗り層が熱と音を遮断し、遮熱性の上塗り層と組み合わせることで、より優れた遮熱効果を発揮します。

また、上塗りは白や淡彩色系から濃色系までカラフルな標準色を設定しています。

保護・美装はもちろんのこと、遮熱機能と防音機能で快適な居住環境を実現します。

## 特長

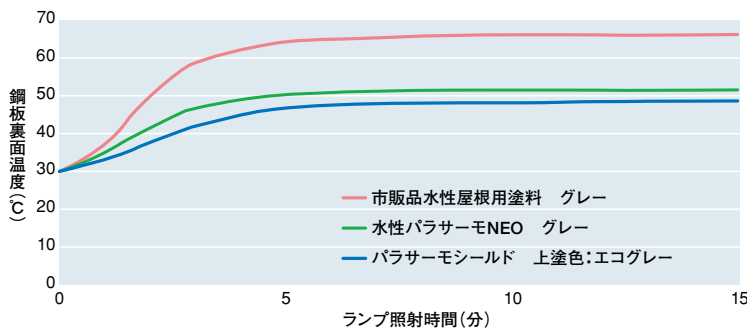
1 中空バルーン層と遮熱性の上塗り層を組み合わせることで、より優れた遮熱効果を発揮します。

2 高い防音効果により、雨音などの騒音を軽減します。

3 白、淡彩色から濃色までカラフルな標準色をラインアップしました。

4 環境対応型の金属用下塗り材は弱溶剤系塗料、中塗り・上塗り材は環境に配慮した水系塗料です。

### 遮熱効果



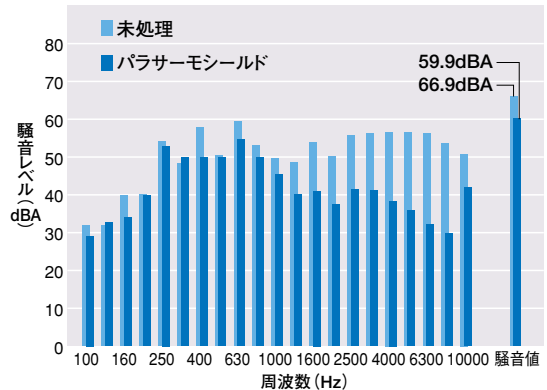
#### 【条件・結果】

●300Wレフランプ ●鋼板300×150×0.8mm  
ランプ照射後の試験板裏面温度を測定すると、一般塗料グレーと比べ、約16℃の温度低減効果があります。当社の屋根用遮熱塗料「水性パラサーモNEO」と比べても約3℃の温度低減効果があります。

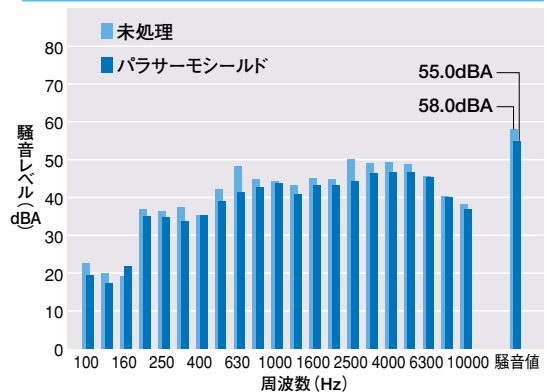
●**ご注意**：基準色より既存塗膜が淡彩色の場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。

### 防音効果

#### ■鋼板屋根塗り替え仕様



#### ■新生瓦塗り替え仕様



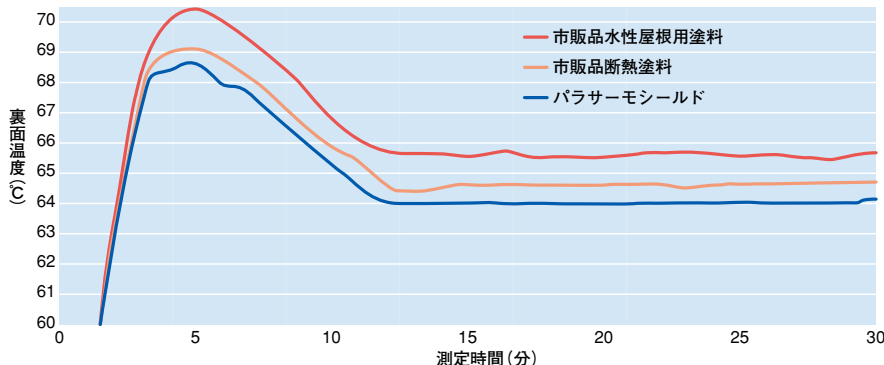
#### 【条件・結果】

●水滴落下試験方法(社内試験)  
●鋼板300×300×0.8mm……未塗装板と比べて7dBA程度の騒音を低減  
●新生瓦400×900×5.0mm……未塗装板と比べて3dBA程度の騒音を低減  
※約3dBA低くなることは、音のエネルギーが半減(100個のスピーカーが50個になります)したことになります。

#### 【騒音値と騒音の例】

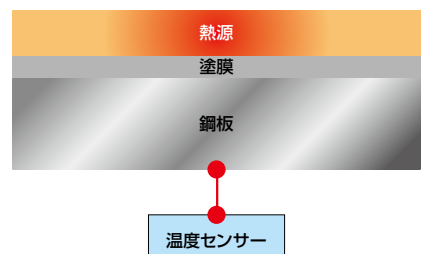
100dBA…電車が通るときのガード下などの音量、80dBA…地下鉄・電車などの車内の音量、60dBA…普段の会話・静かな乗用車内の音量、40dBA…静かな事務所内の音量、30dBA…図書館・静かな住宅地の昼帯・市内など深夜帯の音量、20dBA…郊外の深夜帯・ささやき声程度の音量、10dBA…木の葉のふれあう音・置時計の秒針音(前方1m)の音量

### 断熱効果



#### 【条件・結果】

●熱源設定温度70℃ ●塗料膜厚400μm ●鋼板0.8mm  
市販屋根用塗料と比べると、パラサーモシールドは1.7℃の温度低減効果があります。



# 熱塗料「パラサーモシールド」。

## 一度低減効果で快適な居住環境づくりに貢献します。

### 標準塗装仕様

#### ● 鋼板屋根およびガルバリウム鋼板などの非鉄金属屋根塗り替え仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間	使用量	セット、1缶当たりの塗り面積	施工間隔	
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フクレ、ハガレ、浮きなどの劣化塗膜やサビ、苔類は、ケレン工具を用いて除去してください。</li> <li>●表面のゴミ、ホコリなどは、高圧水洗機やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。</li> <li>●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。</li> </ul>						
補修塗り	●鋼板屋根、ガルバリウム鋼板などの非鉄金属屋根で補修塗りが必要な場合は、下塗り工程の「材料の調合」に準じて適量を使用してください。可使時間と施工間隔は下塗り工程と同じです。						
下塗り	鋼板屋根の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールド金属プライマー A液……16kg</li> <li>● “ ” “ ” B液……1.6kg</li> <li>●塗料用シンナーA ……………0~0.8kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間 (23℃)	0.2~0.25 kg/㎡	70~88 ㎡/セット	16時間以上 72時間以内 (23℃)
	ガルバリウム鋼板などの非鉄金属屋根の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールドGプライマー A液……15kg</li> <li>● “ ” “ ” B液……1.5kg</li> <li>●エポラ#3シンナー ……………2~4kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間 (23℃)	0.2~0.25 kg/㎡	66~82 ㎡/セット	6時間以上 72時間以内 (23℃)
中塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールド中塗 ……………15kg</li> <li>●水 ……………0~0.3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	—	0.3kg/㎡	50㎡/缶	4時間以上 (23℃)	
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールド上塗 ……………15kg</li> <li>●水 ……………0~1.5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	—	0.13~0.16 kg/㎡	93~115 ㎡/缶	2時間以上 (23℃)	
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールド上塗 ……………15kg</li> <li>●水 ……………0~1.5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	—	0.13~0.16 kg/㎡	93~115 ㎡/缶	—	

#### ● 新生瓦・厚形スレート屋根塗り替え仕様

工程	材料の調合	施工方法	使用量	1缶当たりの塗り面積	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フクレ、ハガレ、浮きなどの劣化塗膜やサビ、苔類は、ケレン工具を用いて除去してください。</li> <li>●表面のゴミ、ホコリなどは、高圧水洗機やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。</li> <li>●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。</li> </ul>				
下塗り	●パラサーモシールドスレート用シーラー ……………15kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	0.15kg/㎡	100㎡/缶	4時間以上72時間以内 (23℃)
中塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールド中塗 ……………15kg</li> <li>●水 ……………0~0.3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	0.3kg/㎡	50㎡/缶	4時間以上 (23℃)
中塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールド中塗 ……………15kg</li> <li>●水 ……………0~0.3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	0.3kg/㎡	50㎡/缶	4時間以上 (23℃)
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールド上塗 ……………15kg</li> <li>●水 ……………0~1.5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	0.13~0.16 kg/㎡	93~115 ㎡/缶	2時間以上 (23℃)
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラサーモシールド上塗 ……………15kg</li> <li>●水 ……………0~1.5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	0.13~0.16 kg/㎡	93~115 ㎡/缶	—

\*上塗りは弱溶剤系塗料「パラサーモン」「パラサーモシリコン」「パラサーモフッ素」「スーパーパラサーモシリコン」「スーパーパラサーモシリコンS」も塗装いただけます。

#### 【パラサーモシールド中塗のスプレーの標準塗装例】

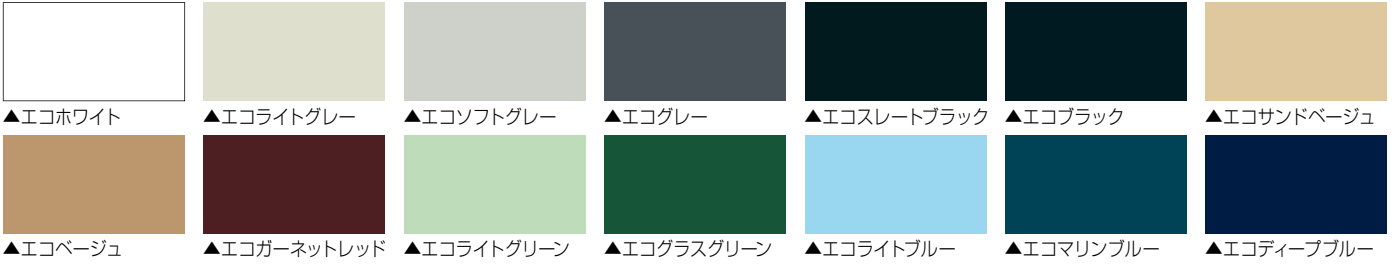
●塗装機 ……………高粘度型エアレスポンプ (ポンプレシオ20:1~30:1)	●吐出量 ……………5~8kg/分
●使用チップ径 ……………0.8mm以上	●塗装速度 ……………50~60cm/秒
●バターン幅 ……………25~30cm	●乾燥膜厚 ……………約180μm

#### ● 使用上の注意事項

- 塗料は必ず規定配合比で調合し、十分に攪拌後、規定の使用量で塗装してください。不十分な場合は塗装ムラなどの施工不良や塗膜欠陥の原因となります。
- 材料は直射日光を避け、雨露の当たらない冷暗所に保管してください。
- 塗料およびシンナーは引火性がありますので、冷暗所に保存し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。また、安全衛生上、塗装の際には有機溶剤の蒸気を吸わないようにご注意ください。
- 新生瓦のローラー施工の場合、塗装後に前木口部に塗料が溜まりますと雨漏りにつながる可能性があります。必ず皮すきやカッターなどで縁切りを行ってください。
- パラサーモシールドをローラーや刷毛で塗装しますと、表面に凹凸が発生します。ご了承ください。
- 高圧水洗機やエアレス塗装では、施工中のミストの飛散防止のため、十分な養生を行ってください。
- 屋根表面が雨や露、霜で濡れているときは十分に乾燥させてから塗装してください。濡れたまま塗装しますとフクレ、ハガレの原因になりますのでご注意ください。
- 降雨、降雪が予想される場合や外気温が5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 降雨などがあつた場合は必ず1日、もしくは2日以上塗装間隔をとり、被塗物の表面に水分がないことを確認して塗装してください。
- 塗装器具は使用後速やかに洗浄してください。
- 塗装の際は必ず防護具を使用し、塗料が直接人体に付着しないようにしてください。
- スレート用シーラー施工後に降雨にあつた場合、もしくは下塗りから上塗りまでの塗装間隔が長く開いた場合は、再度スレート用シーラーを塗装してください。  
※とくに夏場で塗布量が少なく、塗装間隔が空いた場合は必ずスレート用シーラーを再塗装してください。
- スレート用シーラー(pH2~3)と一般の塗料(pH8~9)を混合しますとゲル化、ブツ発生などの原因となります。塗装の前には、塗装器具を水で充分に洗浄してください。

# 標準色

●本標準色は印刷のため、実際の仕上がりと多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。



# 塗膜性能

試験項目	試験方法	成績
付着性	ゴバン目テープ試験(2mm角 100マス)	100/100
耐水性	水道水 18時間浸漬 剥離のないこと	異常なし
温冷繰り返し	20℃水中×18時間浸漬 → -20℃×3時間静置 → 50℃×3時間静置を1サイクル×10サイクル	異常なし
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム溶液 24時間浸漬	異常なし
耐酸性	5%硫酸水溶液 24時間浸漬	異常なし
促進耐候性	サンシャインウエザオメーター2,000時間で著しい劣化がないこと	異常なし
熱伝導率	熱線法試験	0.19W/m・K

# 用途

- 工場、倉庫などのスレート、トタン、鋼板屋根およびガルバリウム鋼板などの非鉄金属屋根
- 体育館の屋根
- 戸建ての一般住宅屋根(新生瓦、厚形スレートなど)
- その他畜舎、車庫などの各種屋根

# 荷姿

- パラサーモシールド金属プライマー ……17.6kgセット(A液:16kg B液:1.6kg)
- パラサーモシールドGプライマー ……16.5kgセット(A液:15kg B液:1.5kg)
- パラサーモシールドスレート用シーラー ……15kg
- パラサーモシールド中塗 ……15kg
- パラサーモシールド上塗各色 ……15kg

## 「パラサーモシールド」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

\*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

**【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】**

# 日本特殊塗料株式会社

## ■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323  
 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739  
 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124  
 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560  
 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256  
 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

## ■代理店